

3/9

85 日間大切に育てたパンジーを市役所へ 普天間小 2 年生よりプランターの贈呈



児童たちが育てたパンジー

普天間小学校 2 年 1 組（天久武信校長）の皆さんが愛情込めて育てたパンジー（プランター）約 10 個を市役所へ贈呈しました。同取組みは、1964 年（昭和 39 年）7 月にも行われています。児童を代表して光岡舞吏さんは「パンジーのかわいい花を見るとウキウキする。市役所にも花を飾ってもらい、市民の皆さんがウキウキした気分になってくれると嬉しい」と元気よくあいさつをしました。

2/14

MV-22 オスプレイの部品落下について 抗議・要請



▲ 12 月 9 日沖縄防衛局長が説明のため来庁

2 月 9 日に発生したうるま市伊計島の海岸に MV-22 オスプレイの部品が漂着したこと及び、当該部品が落下した事実について米側から連絡が無かったことについて、沖縄防衛局長、外務省沖縄担当大使、第三海兵遠征軍司令官、沖縄米国総領事へ抗議・要請を行いました。佐真眞市長は、12 月に起きた普天間第二小学校へのヘリ窓落下の重大事故から 2 ヶ月も経過しないうちに同様の事故が起きたことに強く抗議するとともに、トラブルが相次ぐ構造的な原因の究明および再発防止策の公表、速やかな情報提供の徹底と普天間飛行場の一日も早い返還の実現を強く求めました。

3/6

バランスの良い食事の提供を確認 公立保育所調理等業務委託試食会



2 月 1 日より民間委託が開始されている保育所調理等業務の視察を兼ね、宜野湾保育所にて試食会が行われました。副市長、委託業者選定委員、市関係者が参加し、児童と一緒に給食を食べるなど、楽しい給食交流の時間を過ごしました。当日は、鮭のみそ焼き、もずくチャンプルーなどが給食にならび、本市が大切にしてきた素材の味を活かしたバランスの良い食の提供が、委託後もきちんと継承されていることを確認しました。

3/8

剰余金を寄付 新春の集い実行委員会より普天間未来基金



毎年 1 月に開催される年明け最初の大きなイベントである「宜野湾市新春の集い」の剰余金 30 万円を、普天間未来基金へ寄付することに決定した同実行委員会の皆さんが市役所を訪れ、贈呈式を行いました。

普天間未来基金は、基地跡地関係や未来を担う人材育成事業のために昨年 7 月 1 日（宜野湾市民の日）に創設されたもので、多くの皆さまからご寄付をいただいています。

3/12

九州クラブユース (U-13) サッカー大会初優勝 外間達也さん、森屋椋太さん



3 月 3、4 日に開催された、第 12 回九州クラブユース (U-13) サッカー大会で初優勝を果たした、ヴィクサーレ沖縄 FC ジュニアユースのメンバーで市出身の外間達也さんと森屋椋太さんが市役所を訪れ、優勝報告を行いました。森屋さんは「全国優勝を目指しているので、県や九州大会では大差をつけられるよう、練習を頑張っていきたい」と今後の目標を語りました。